

多項式の計算法 (Horner 法)

一般に複素数を係数とする多項式

$$p(z) = \sum_{k=0}^n a_{n-k} z^k \quad (1)$$

の値を計算するには,

$$p(z) = (\cdots ((a_0 z + a_1) z + a_2) z \cdots + a_{n-1}) z + a_n \quad (2)$$

の形で計算するとよい (乗算回数は n 回である)。この計算法は漸化式:

$$p_{n+1}(z) = 0, \quad p_n(z) = a_0; \quad p_k(z) = z p_{k+1}(z) + a_{n-k} \quad (k = n-1, n-2, \dots, 0) \quad (3)$$

として書ける。このとき $p(z) = p_0(z)$ である。これを Horner 法という。

上の漸化式を利用すると、導関数値も効率よく計算できる。導関数値 $p'(z)$ は、式 (3) を微分した漸化式

$$p'_k(z) = z p'_{k+1}(z) + p_{k+1}(z) \quad (k = n-1, n-2, \dots, 0) \quad (4)$$

(ただし $p'_{n+1}(z) = p'_n(z) = 0$) から計算される。ここで $p'(z) = p'_0(z)$ である。

原点を z に移動したときの表現式

$$p(z + \zeta) = \sum_{k=0}^n c_{n-k} \zeta^k \quad (5)$$

の展開係数 c_{n-k} は、 k 階の導関数値によって

$$c_{n-k} = p^{(k)}(z)/k! \quad (6)$$

と表される。この値も漸化式 (3) を利用して、以下のように計算することができる。

漸化式 (3) を l (≥ 1) 回微分して、

$$p_k^{(l)}(z)/l! = q_k^{(l)}(z) \quad (7)$$

とおけば、

$$\begin{aligned} q_{n+1}^{(l)}(z) &= q_n^{(l)}(z) = 0, \\ q_k^{(l)}(z) &= z q_{k+1}^{(l)}(z) + q_{k+1}^{(l-1)}(z) \quad (k = n-1, n-2, \dots, 0) \end{aligned} \quad (8)$$

となる。この漸化式から

$$c_{n-l} = p^{(l)}(z)/l! = q_0^{(l)}(z) \quad (9)$$

が求められる。

さらに、 $q_k^{(l)}(z) = 0$ ($k+l \geq n+1$) に着目して、

$$b_k^{(l)}(z) = q_{n-l-k}^{(l)}(z) \quad (0 \leq k \leq n-l) \quad (10)$$

とおくと、漸化式 (8) の計算を一つの 1 次元配列 $b[k]$ ($k = 0, 1, \dots, n$) だけを用いて進めることができるようになる (以下の算法で $b^{(l)}[k] = b_k^{(l)}(z)$ であるが、実際の計算では上添字 $^{(l)}$ を無視する)。

組立除法 (Horner 法)

1°: $b^{(-1)}[k] := a_k \quad (k = 0, 1, \dots, n).$

2°: $l = 0, 1, \dots, n$ に対して順次

$$b^{(l)}[0] := a_0; \quad b^{(l)}[k] := b^{(l)}[k-1]z + b^{(l-1)}[k] \quad (k = 1, \dots, n-l)$$

を計算する . □

算法の終了時に

$$b[n-k] = b^{(k)}[n-k] = c_{n-k} \quad (k = 0, 1, \dots, n) \tag{11}$$

であり, 乗算回数は全体で $n(n+1)/2$ になる . (算法の 2° の反復を途中で止めて $l = 0, 1, \dots, m$ とすれば, $b[n-k] = c_{n-k} \quad (k = 0, 1, \dots, m)$ であることに注意 .)

例 1 3 次式 $p(z) = z^3 - 3z + 3$ に対して, 原点を $z = -2.11$ に移動した (5) の形に展開する . 10 進 3 桁 4 捨 5 入計算の組立除法は次のようになる .

	$k = 0$	$k = 1$	$k = 2$	$k = 3$
$b^{(-1)}[k]$	1.00	0.00	-3.00	3.00
$(b^{(0)}[k-1]z)$		-2.11	4.45	-3.06
$b^{(0)}[k]$	1.00	-2.11	1.45	<u>-0.06 = c₃</u>
$(b^{(1)}[k-1]z)$		-2.11	8.90	
$b^{(1)}[k]$	1.00	-4.22	<u>10.4 = c₂</u>	
$(b^{(2)}[k-1]z)$		-2.11		
$b^{(2)}[k]$	1.00	<u>-6.33 = c₁</u>		

したがって, $p(\zeta - 2.11) = \zeta^3 - 6.33\zeta^2 + 10.4\zeta - 0.06$ である . □

以上 (2013-10-07)